

[参考・4月（確報）]
家計支出に関する意識調査結果
（詳細版）

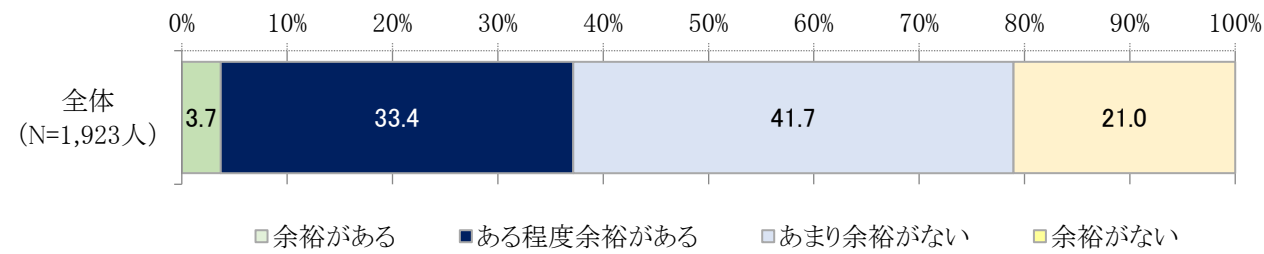
令和元年6月19日（水）



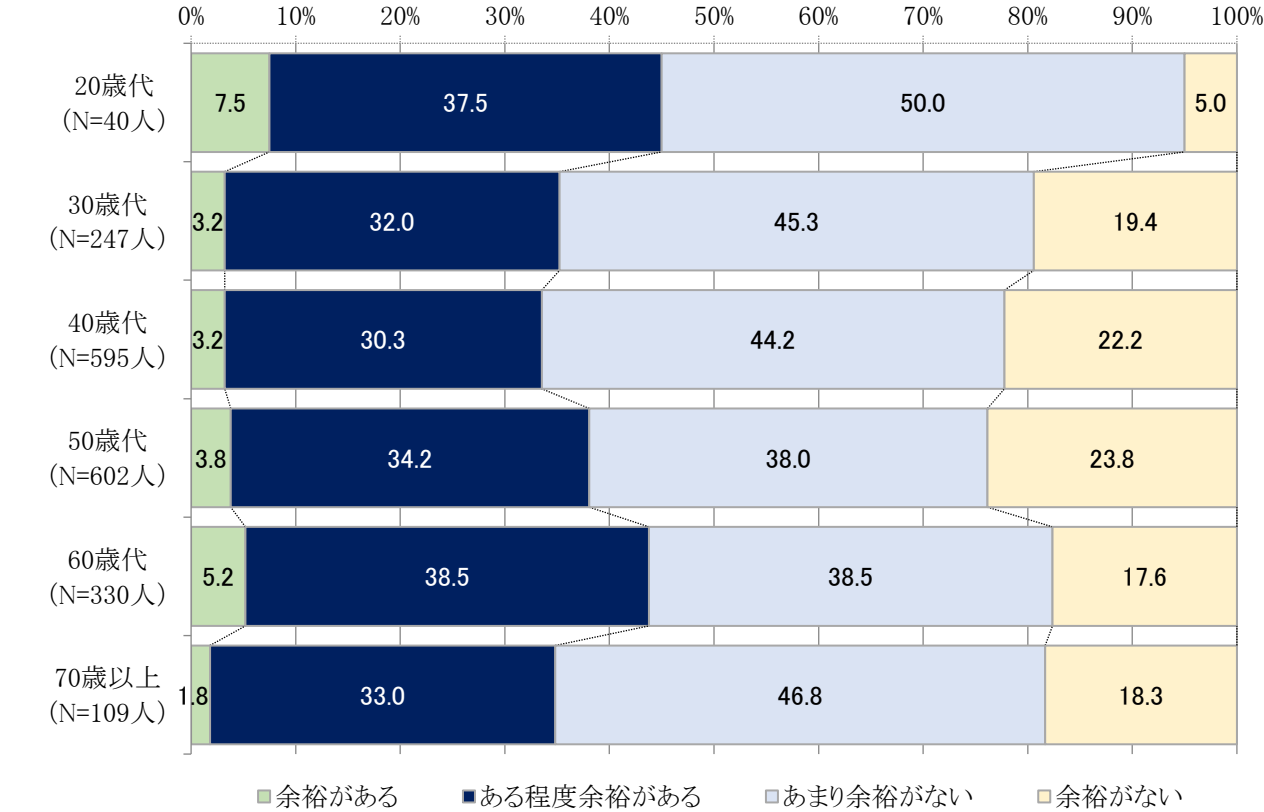
注) 家計支出に関する意識調査は、物価モニター調査の4月調査のみの設問であったため、4月調査から当該意識調査部分を抜粋し、確報として数値を更新した上で、参考として公表するものである。
なお、本調査結果は、令和元年5月22日付け調査結果から、問2以降の各設問について、年代別、居住形態別及び家計の余裕度別の数値を追加したものである。

1. 意識調査結果

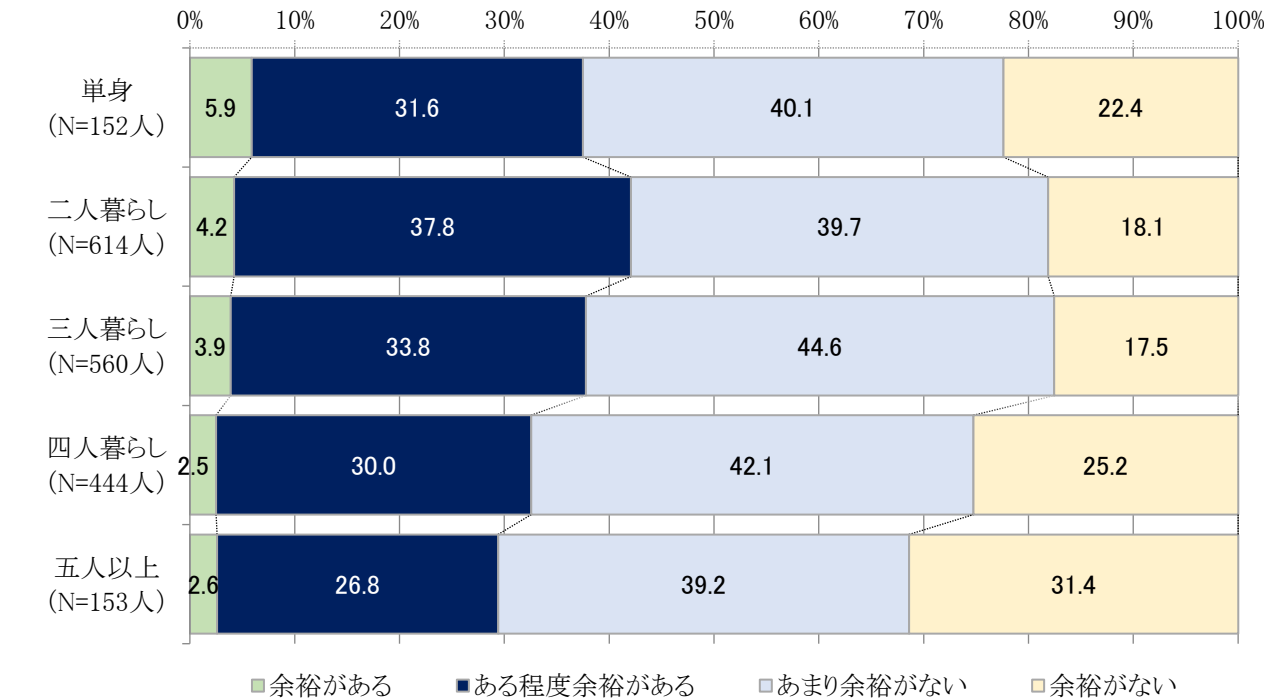
問1 あなたは日々の家計のやり繰りについて、どのように感じていますか。次のうち、当てはまるものを1つ選んでください。



<(参考)年代別>



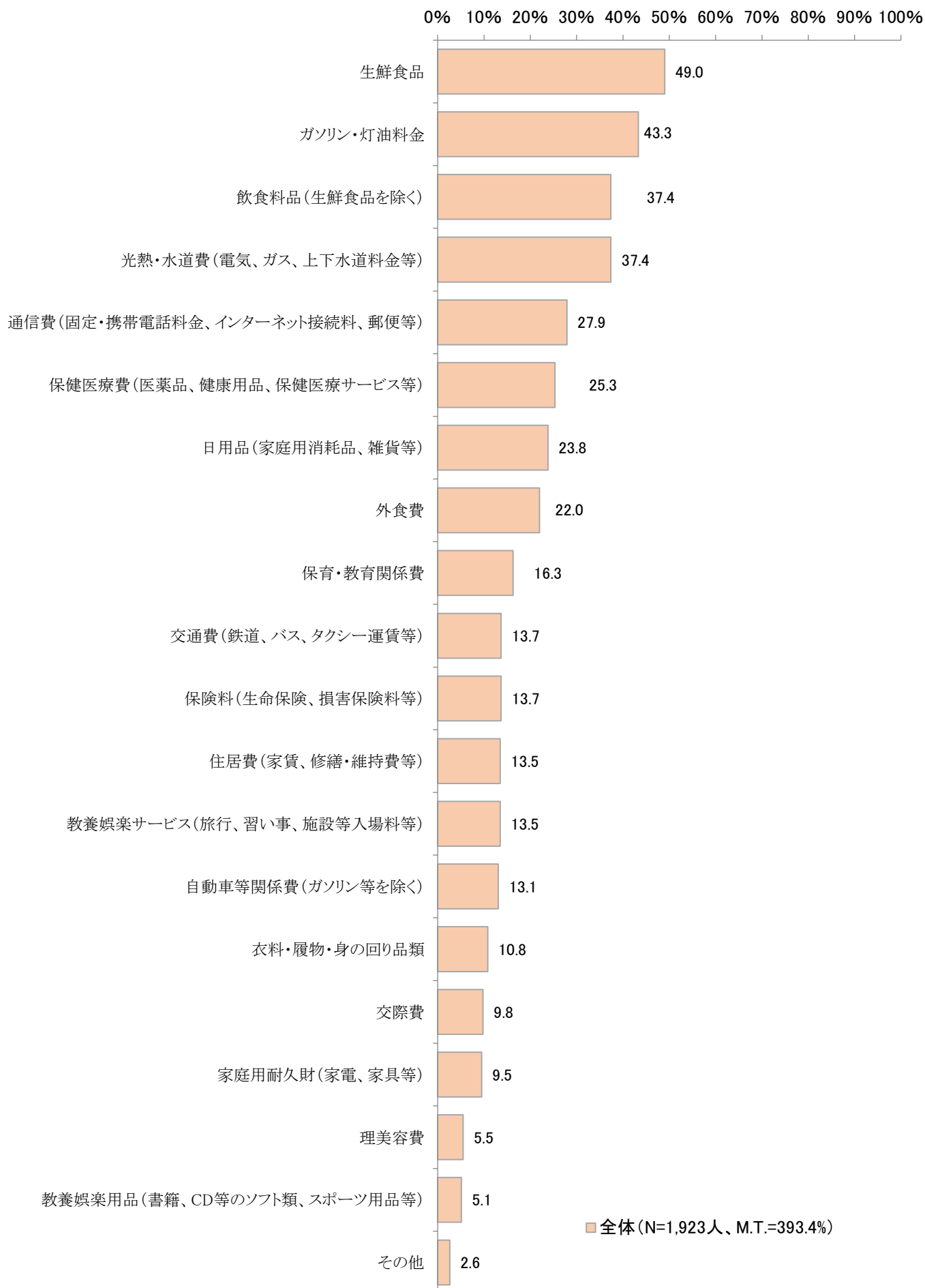
<(参考)居住形態別>



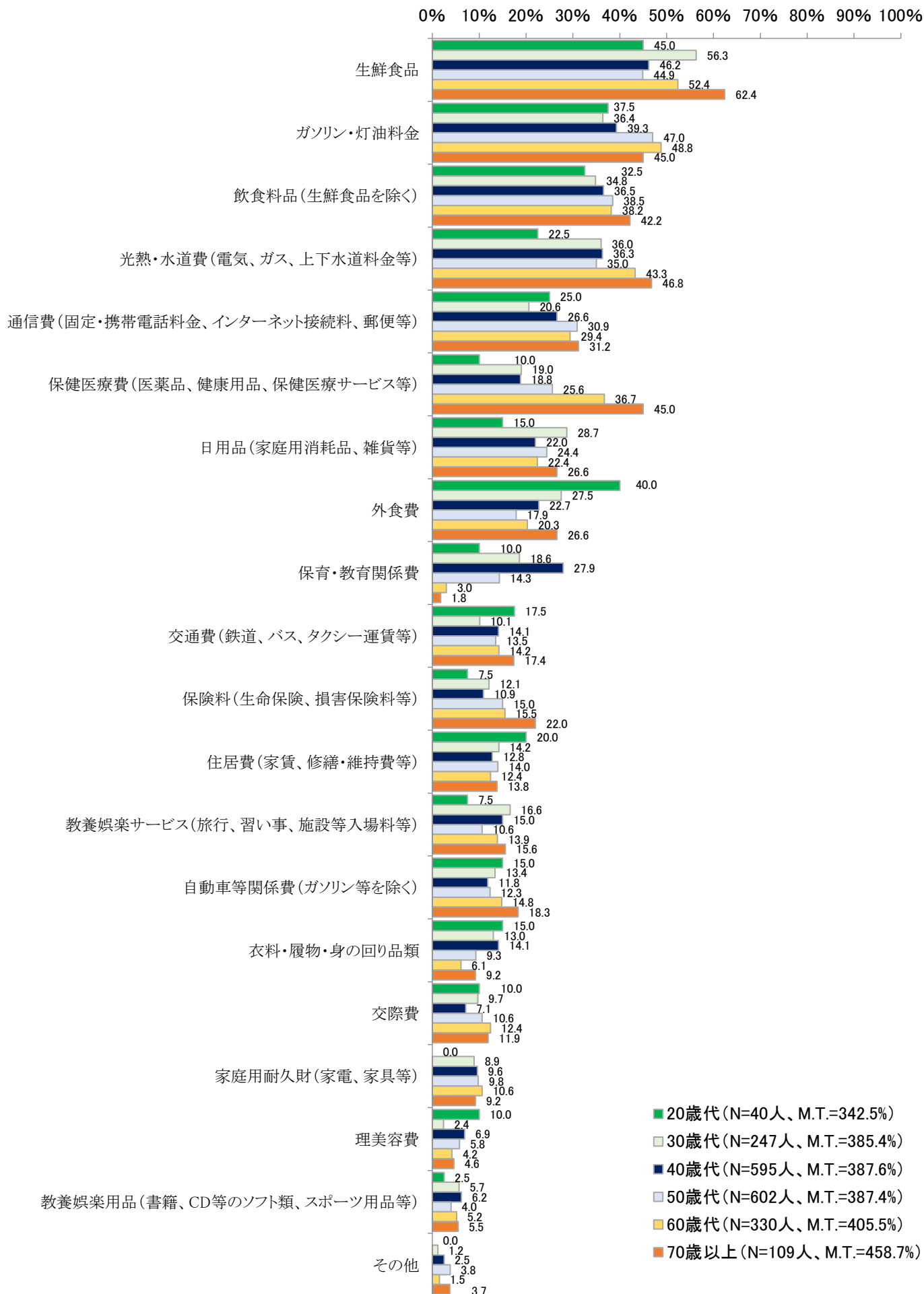
問2 1年前と比較して、家計の負担感が特に高まったと感じる品目は何ですか。

当てはまるものを、いくつでも選んでください。

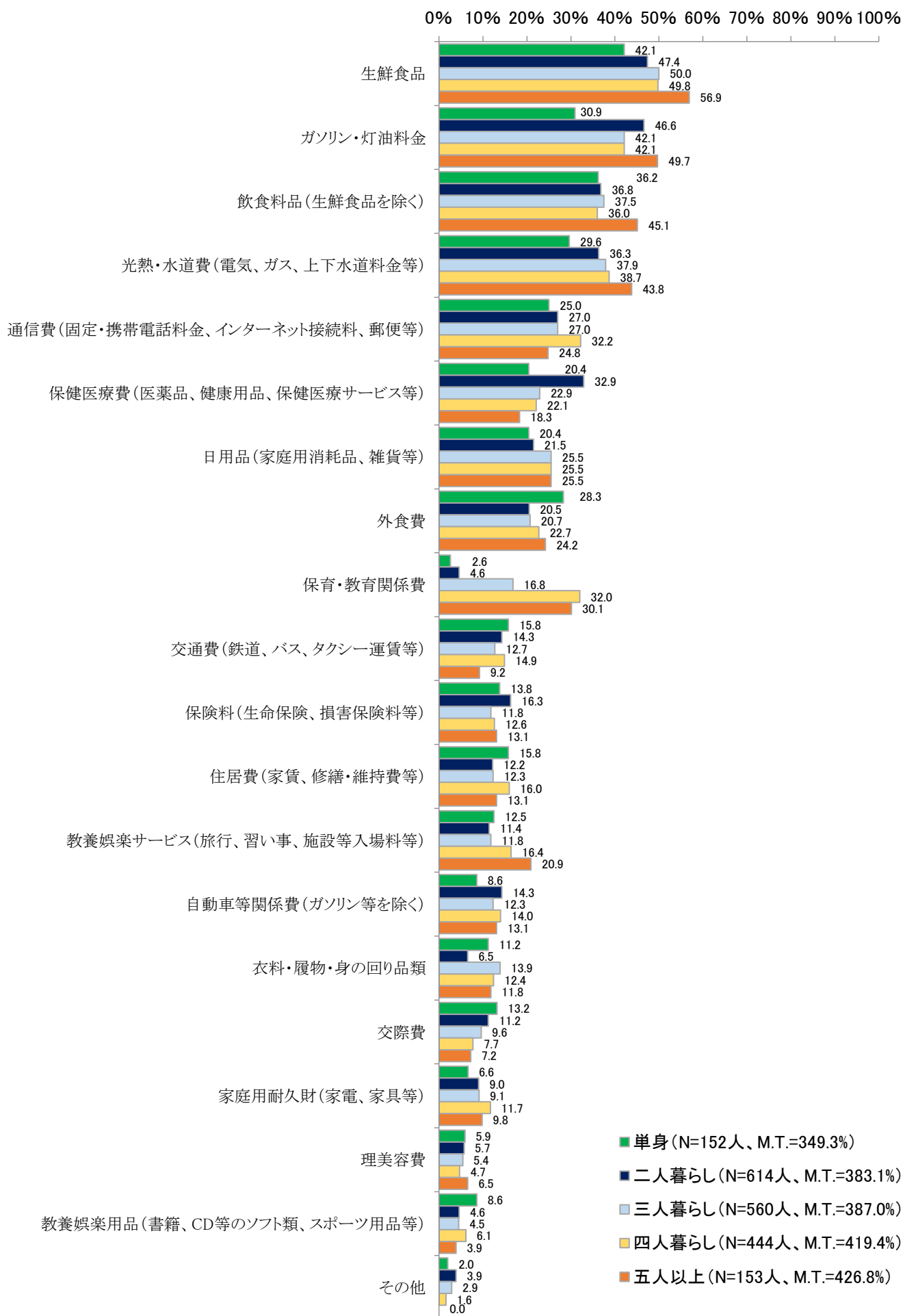
回答者数の割合(%)



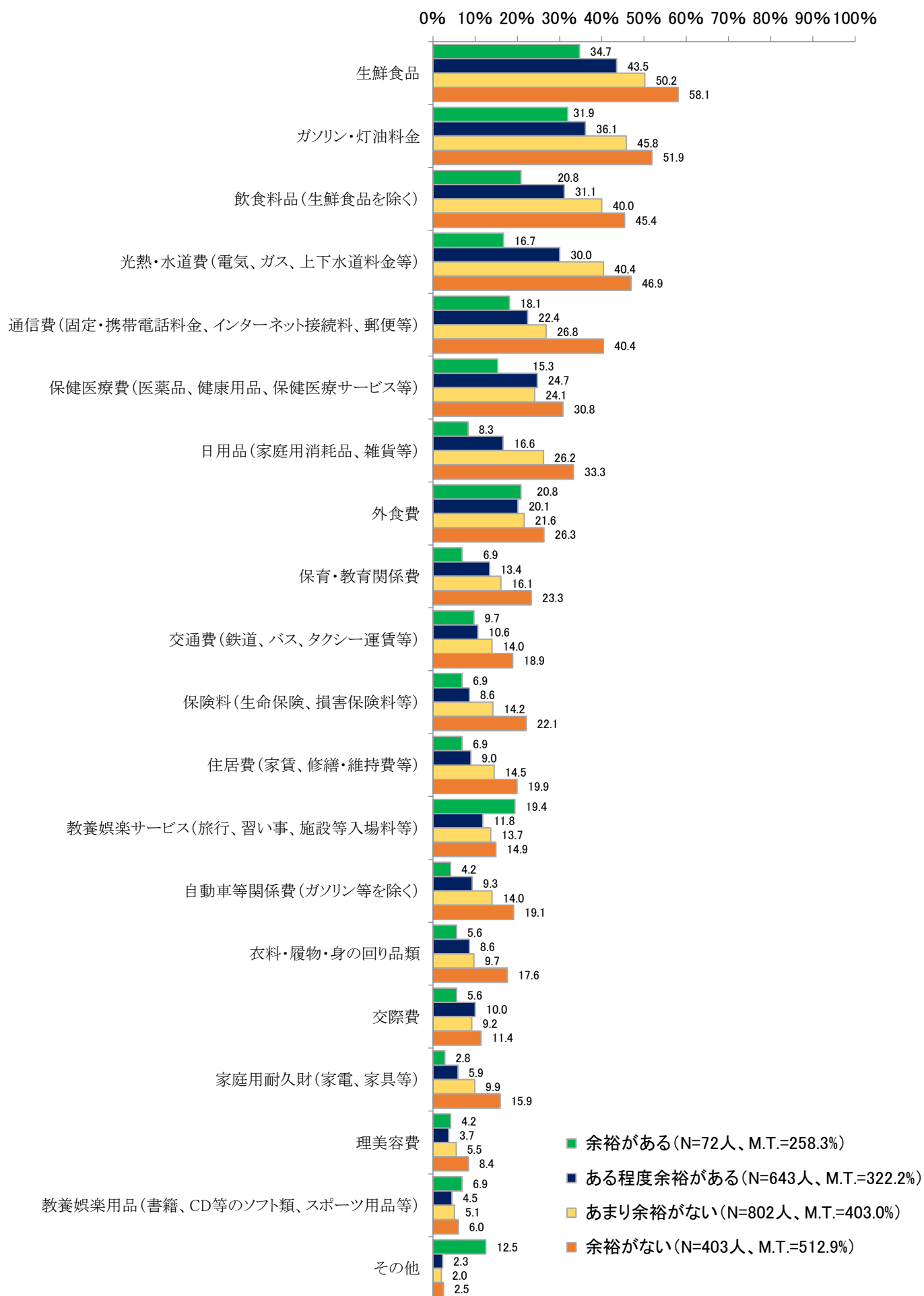
問2 <(参考)年代別>



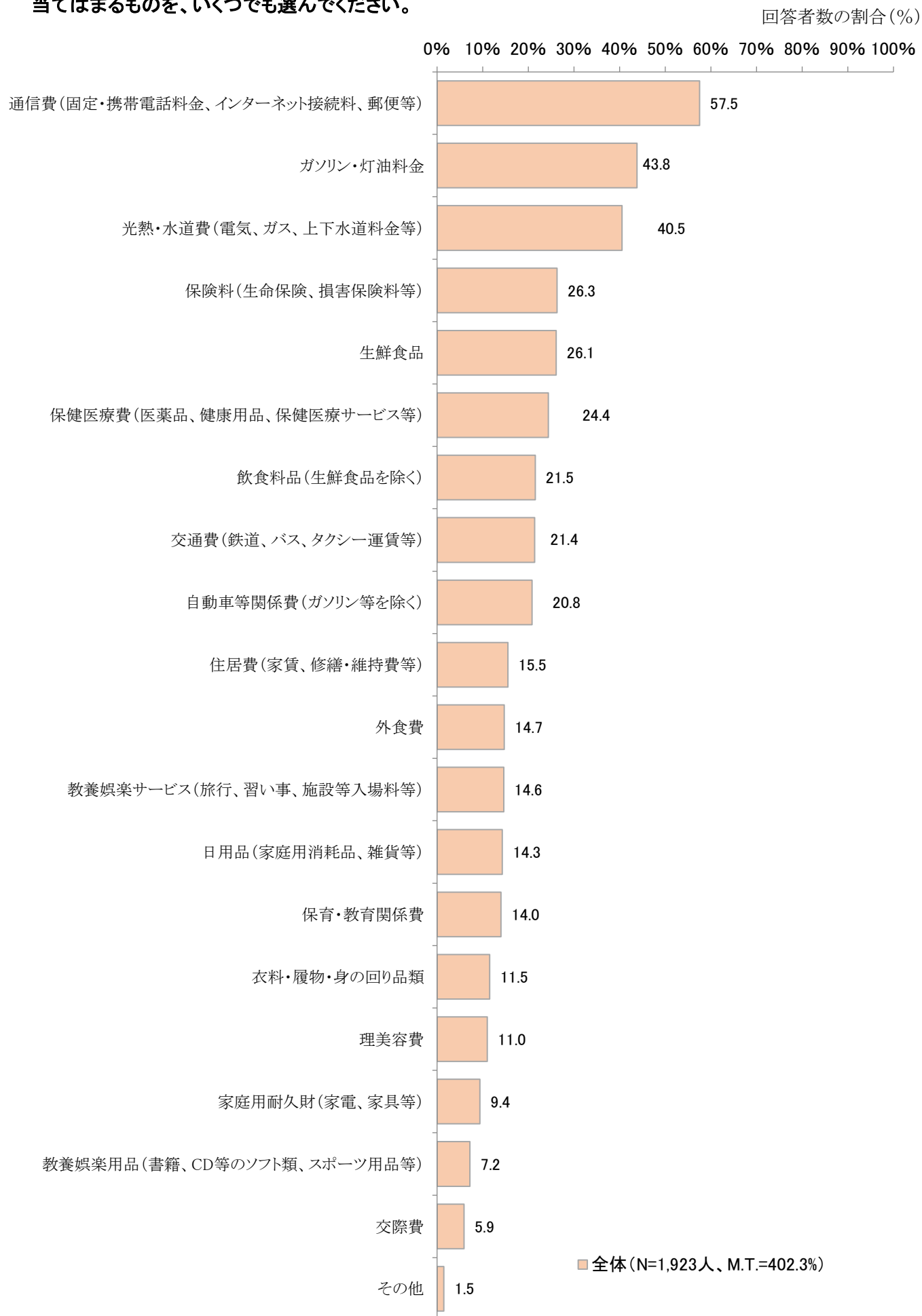
問2 <(参考)居住形態別>



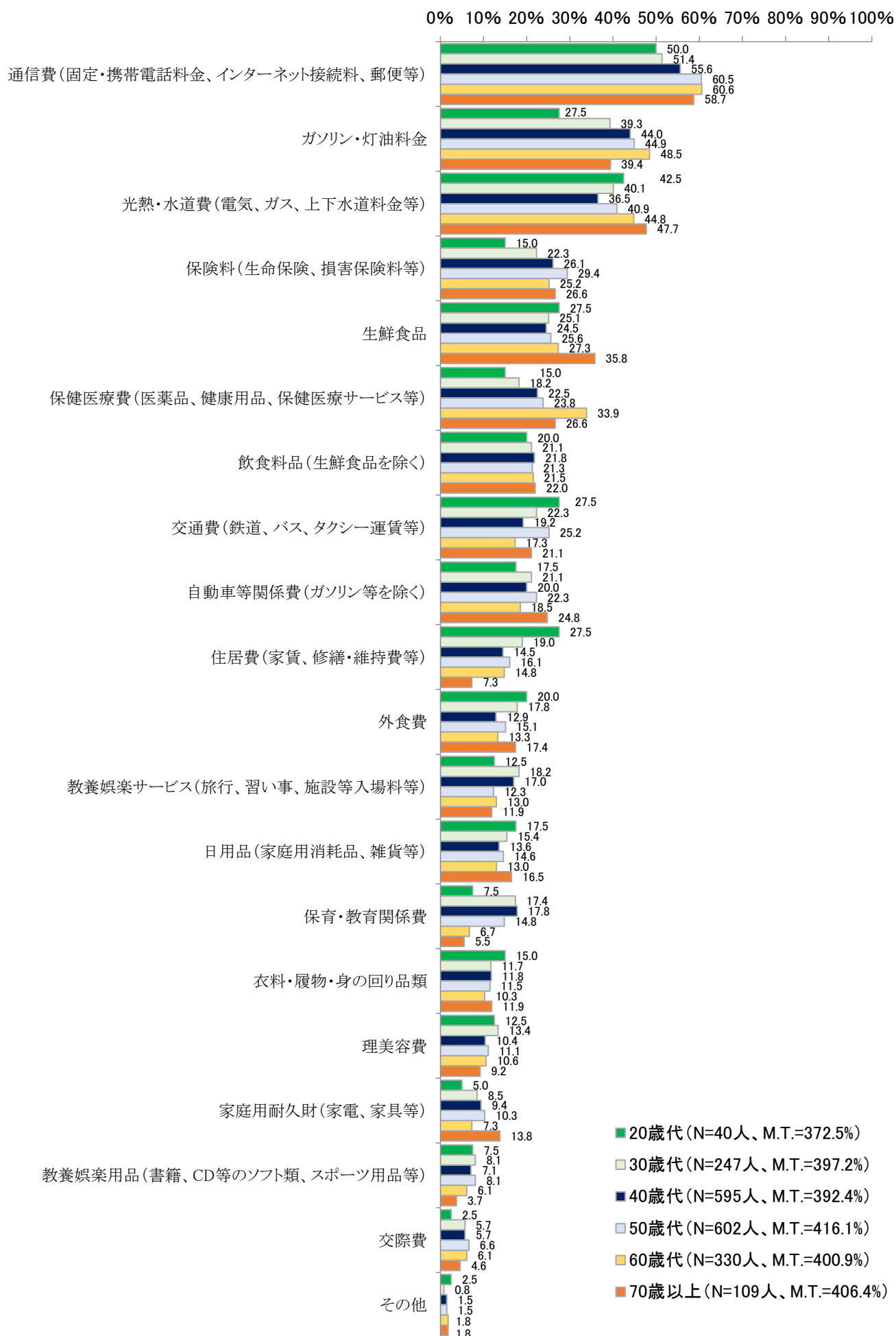
問2 <(参考)家計の余裕度別>



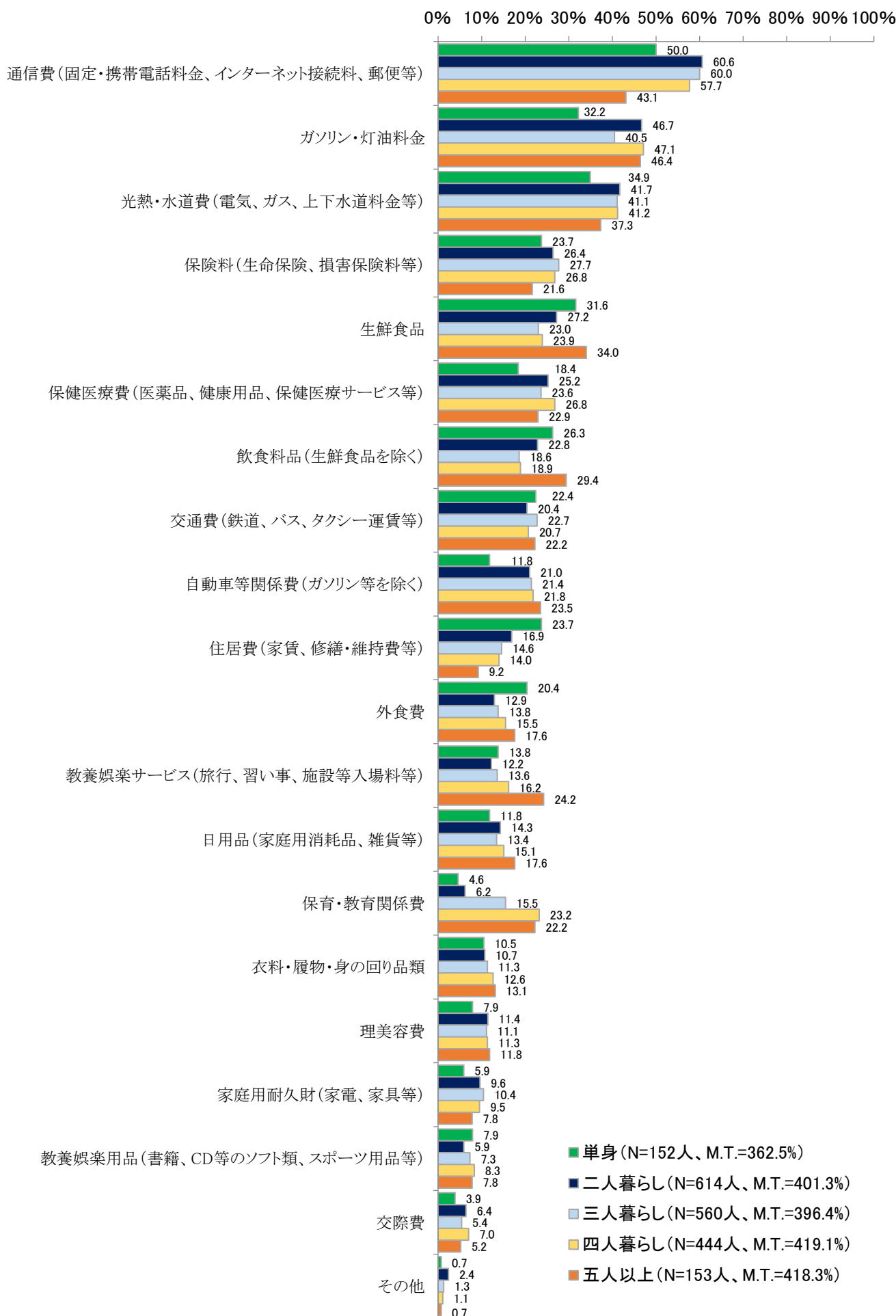
**問3 商品・サービスの質・内容に対してもっと安くても良いと感じる品目は何ですか。
当てはまるものを、いくつでも選んでください。**



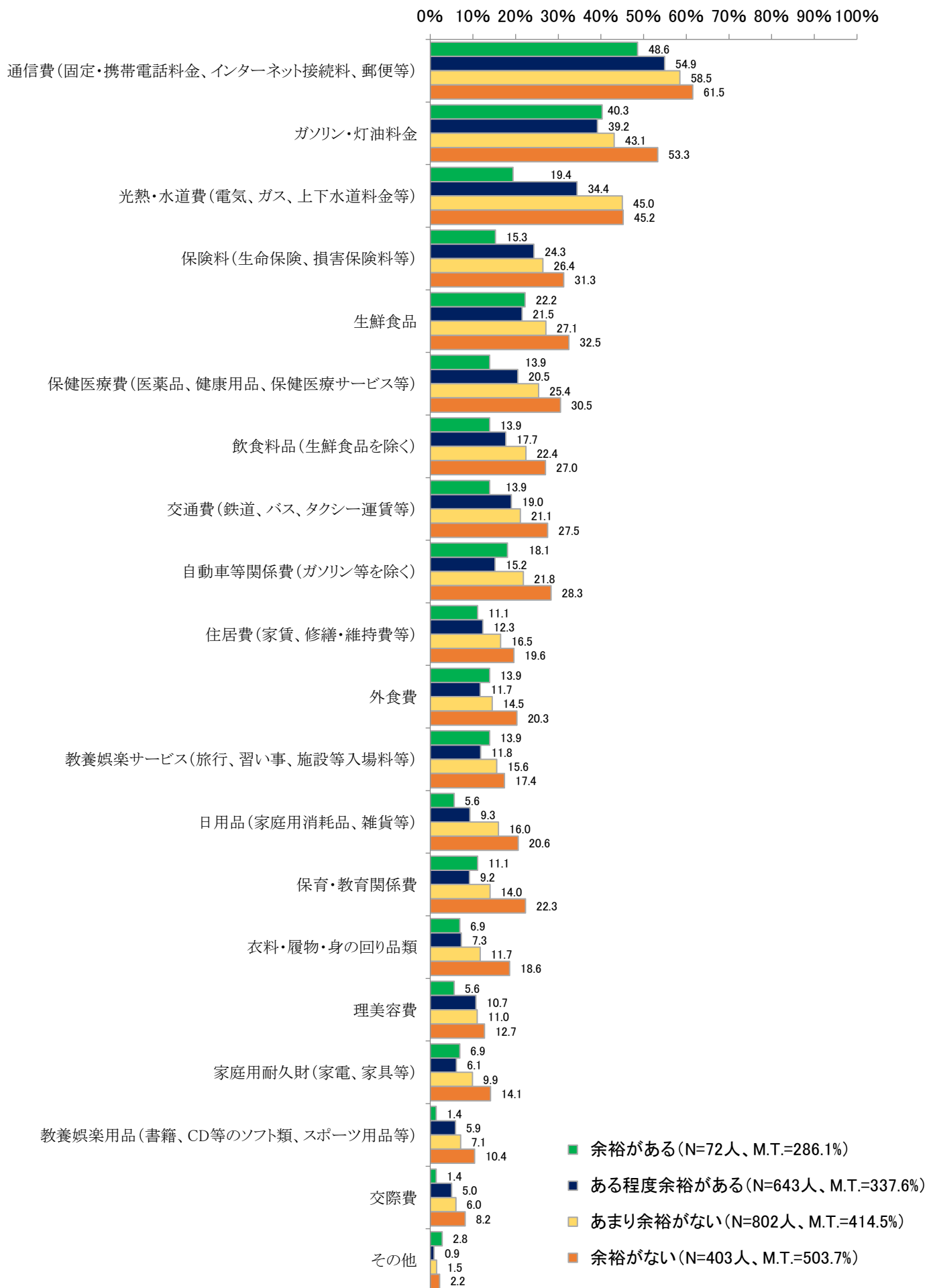
問3 <(参考)年代別>



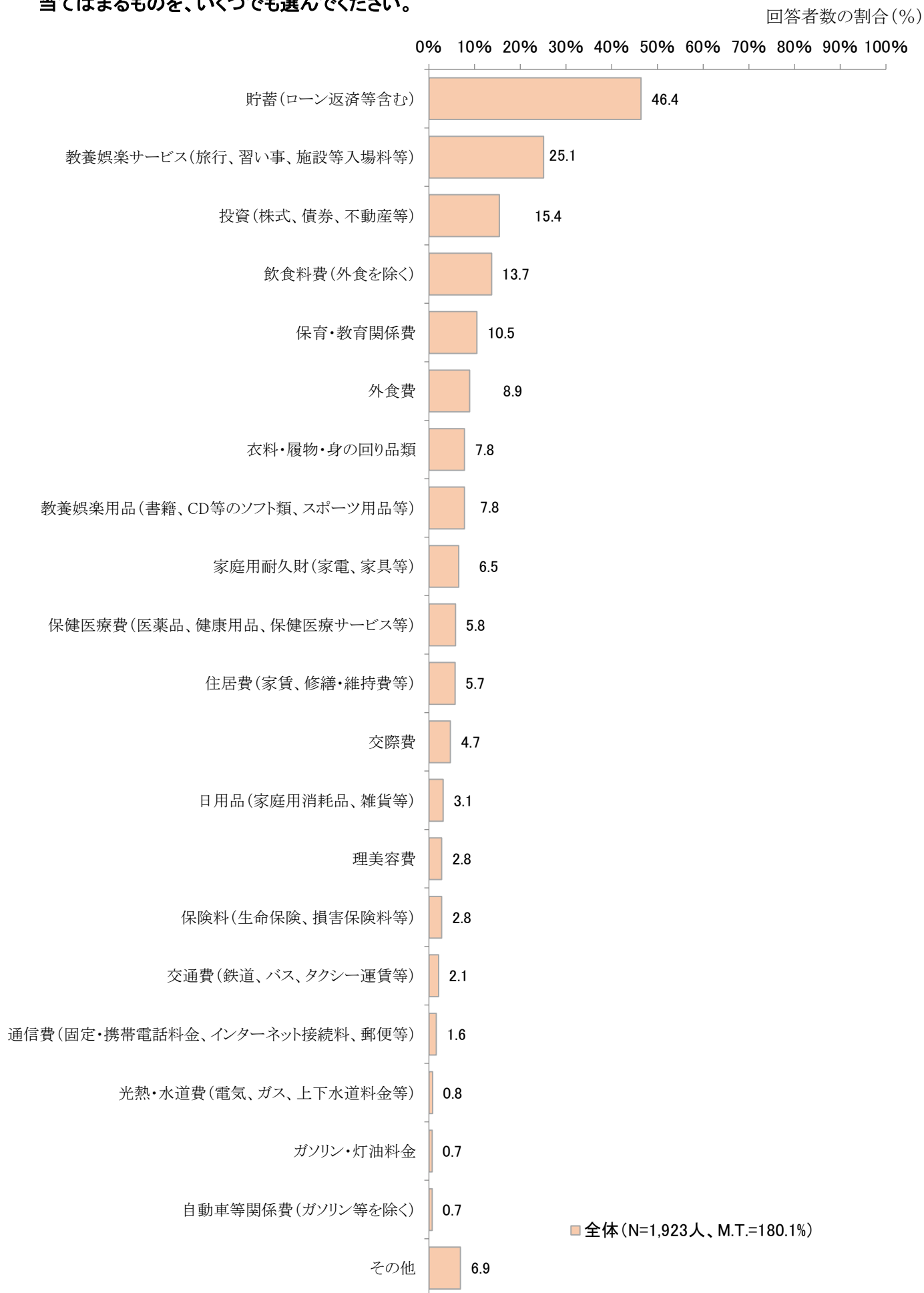
問3 <(参考)居住形態別>



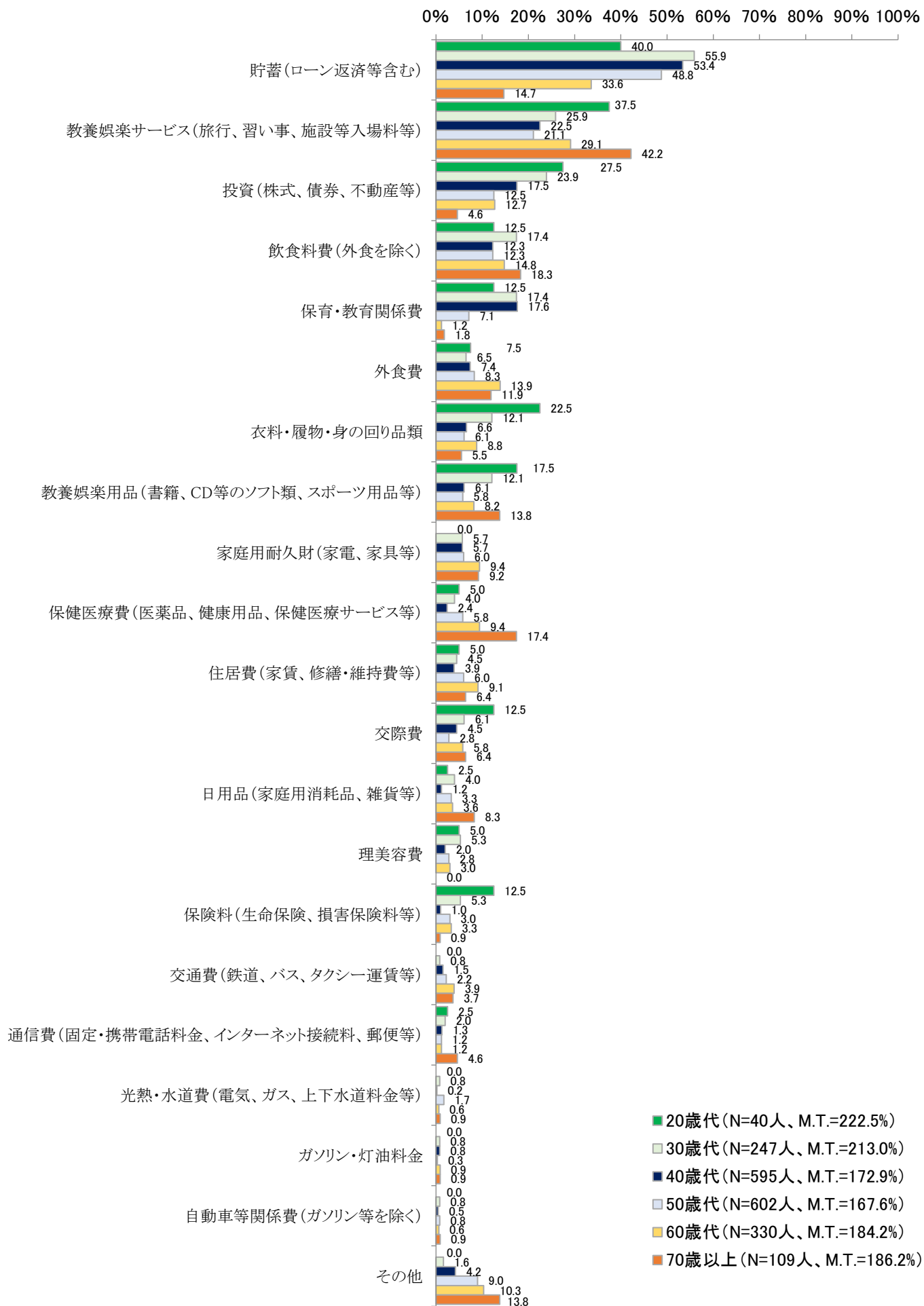
問3 <(参考)家計の余裕度別>



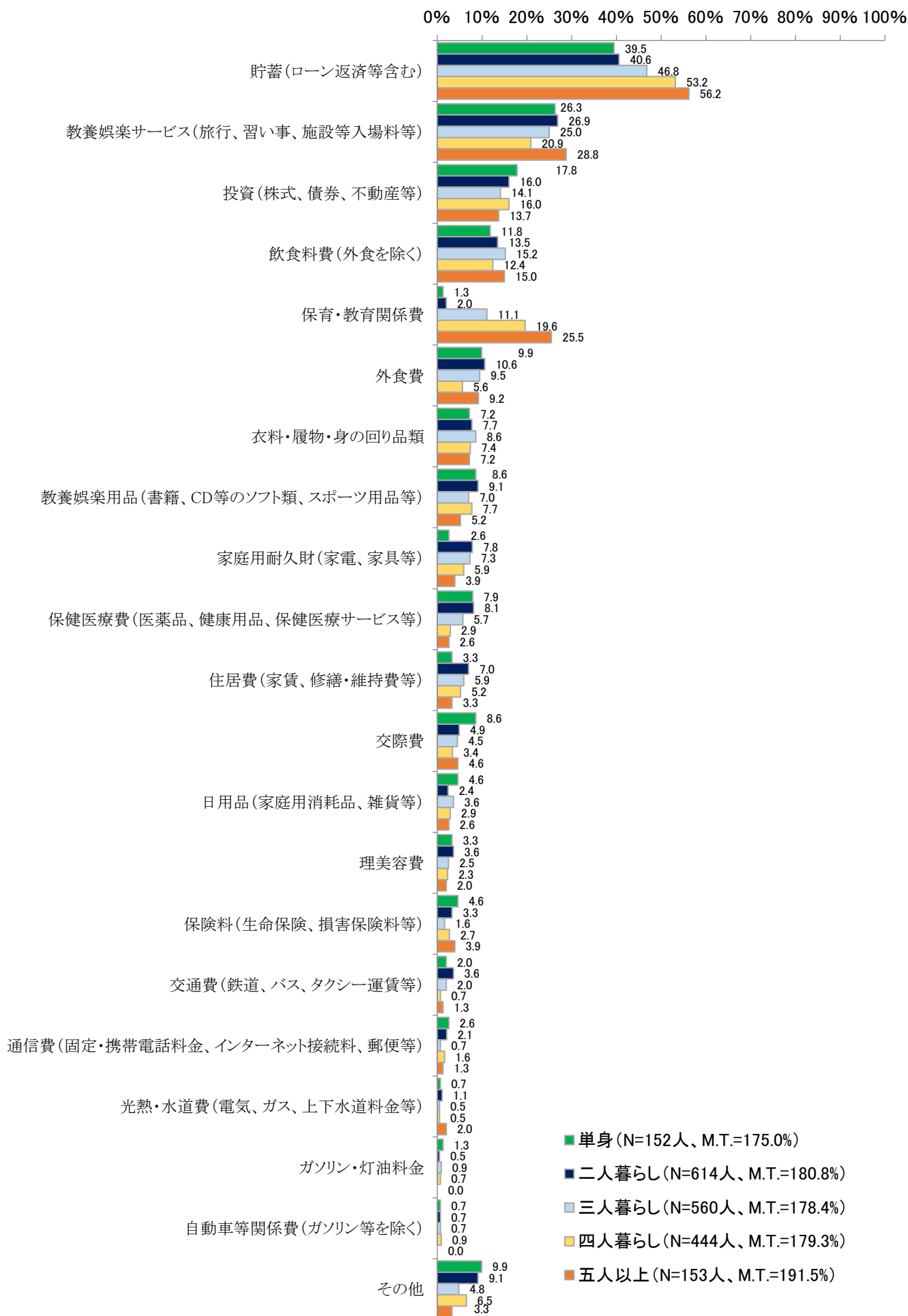
**問4 家計において、今後どのような品目に対して特に支出を増やしたいと思いますか。
当てはまるものを、いくつでも選んでください。**



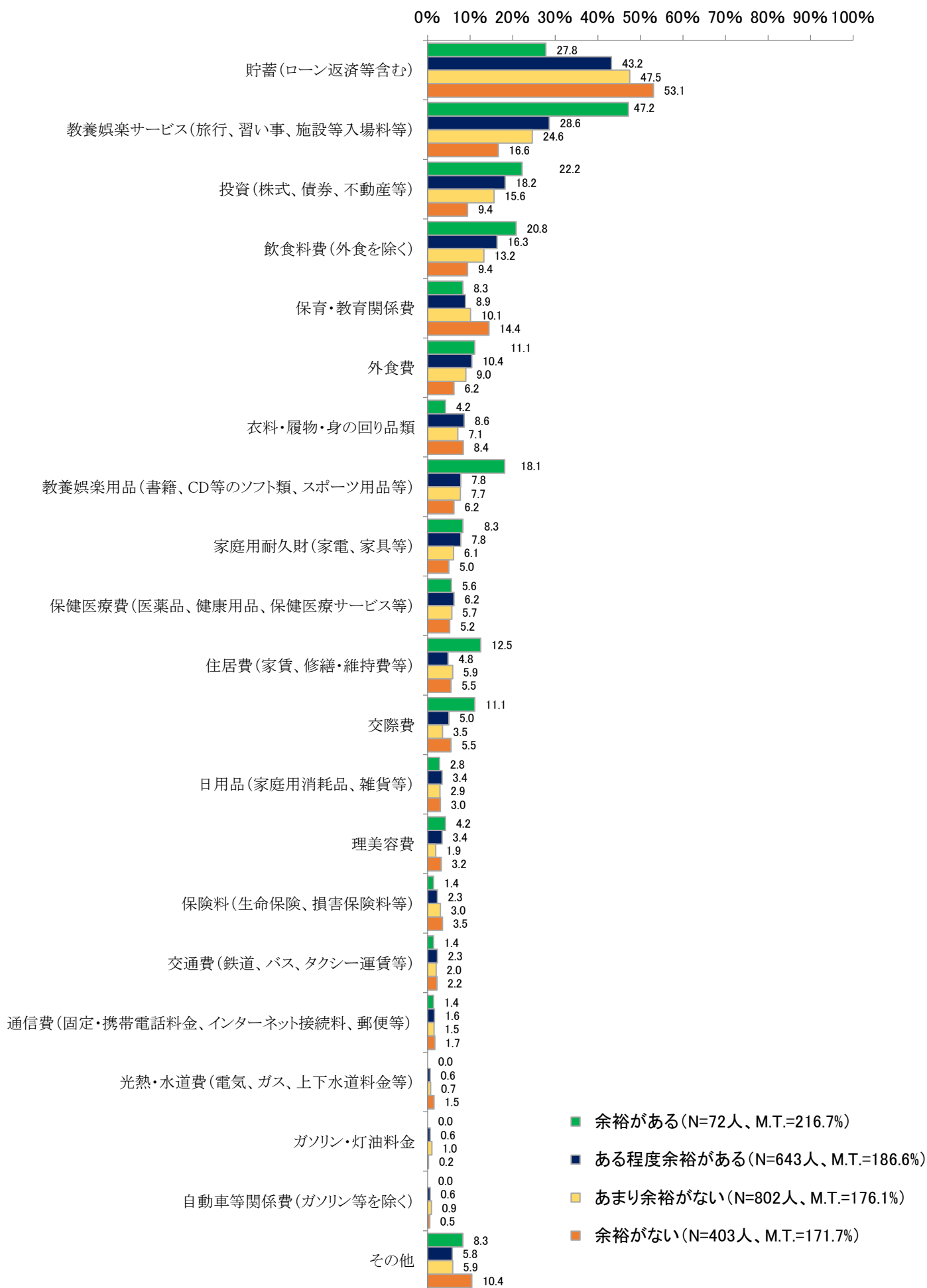
問4 <(参考)年代別>



問4 <(参考)居住形態別>

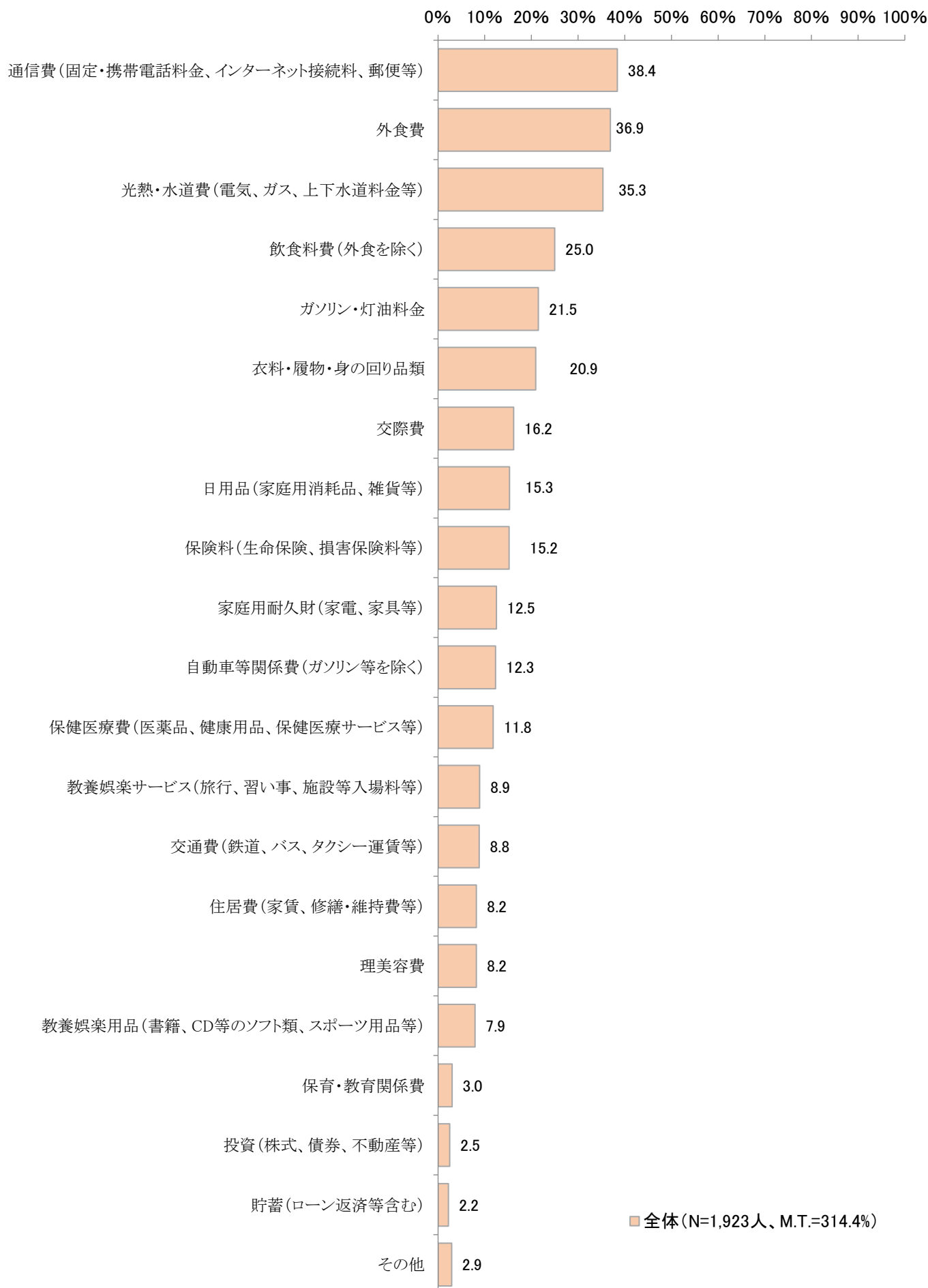


問4 <(参考)家計の余裕度別>

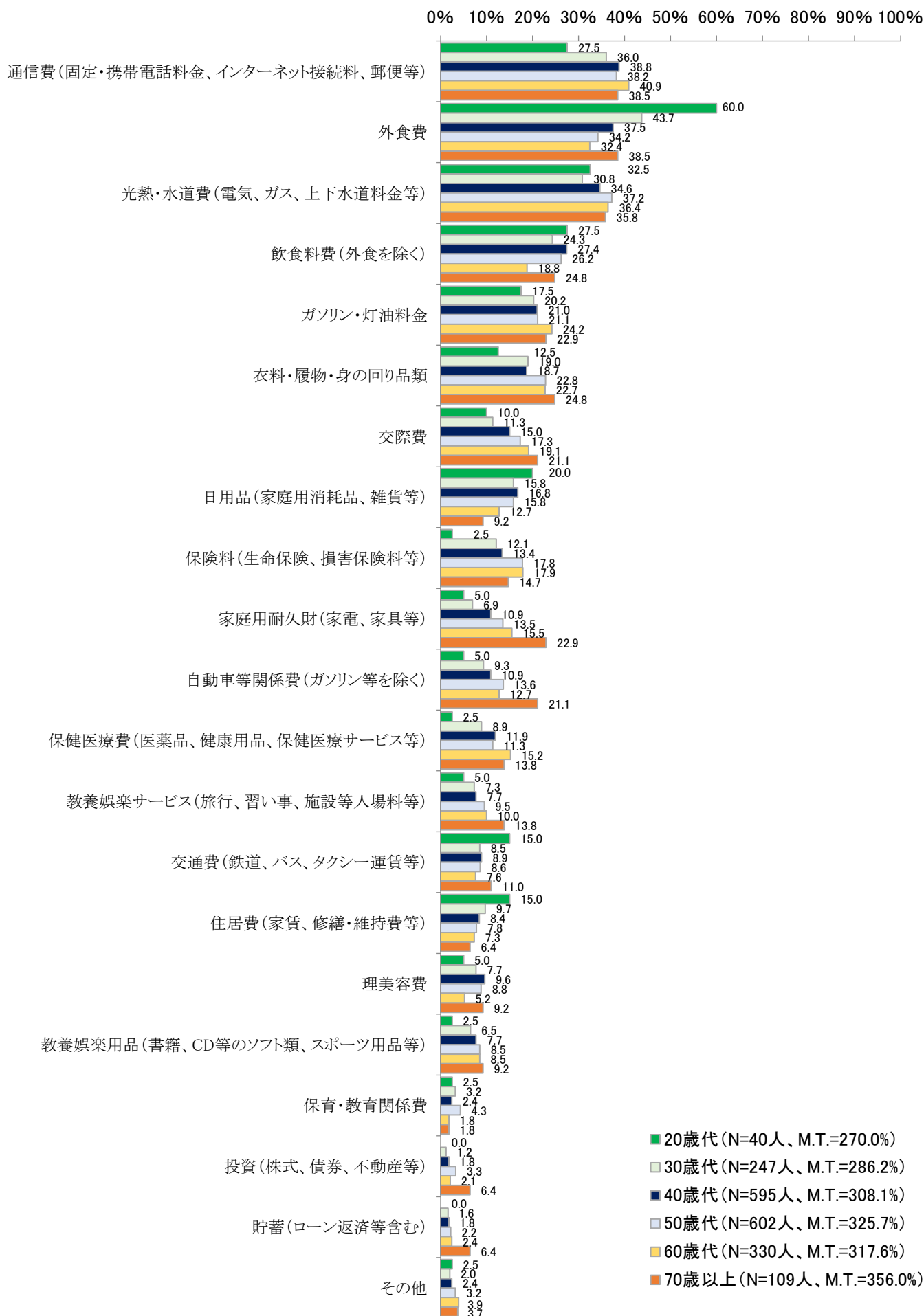


**問5 家計において、今後どのような品目に対して特に支出を減らしたいと思いますか。
当てはまるものを、いくつでも選んでください。**

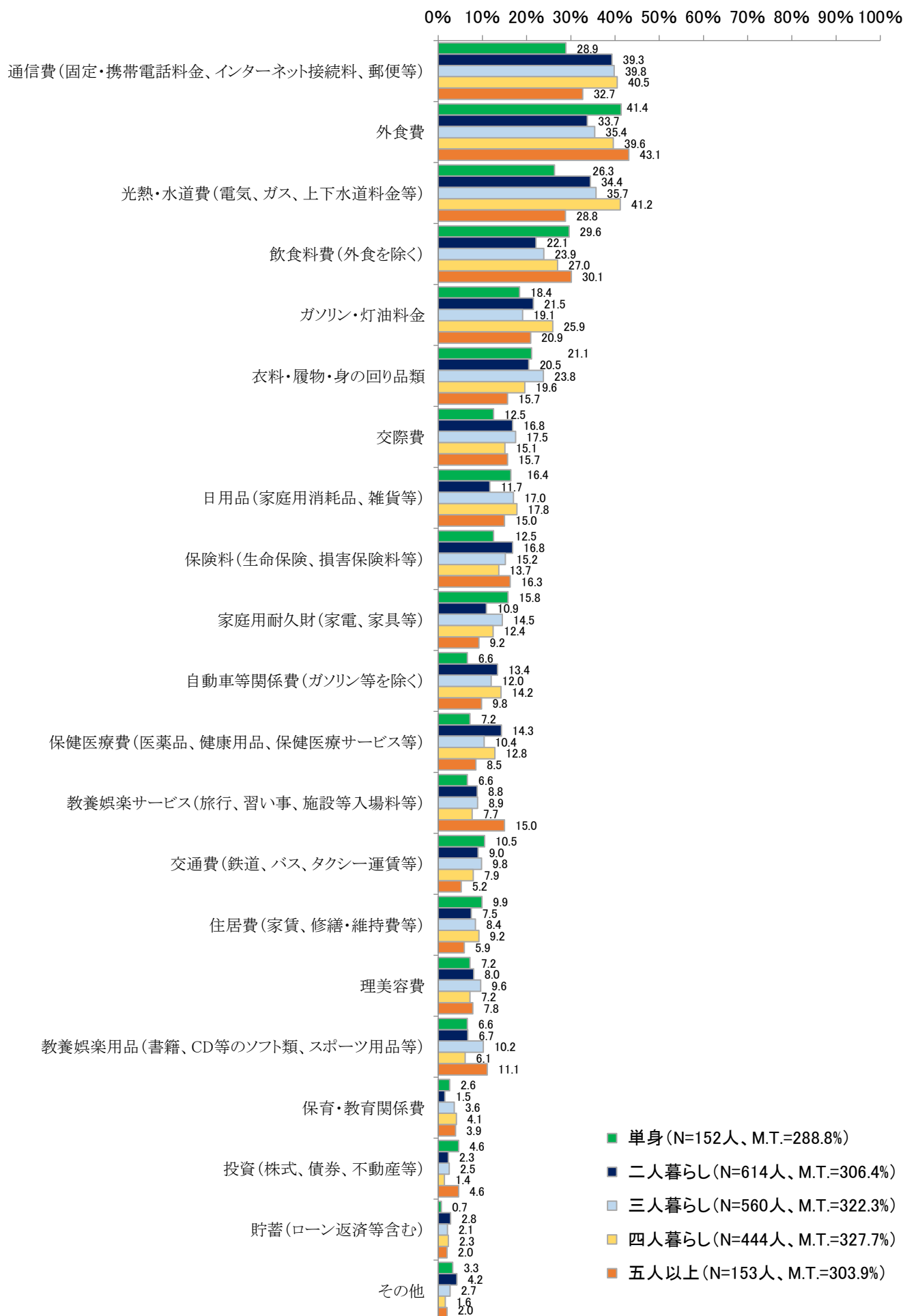
回答者数の割合(%)



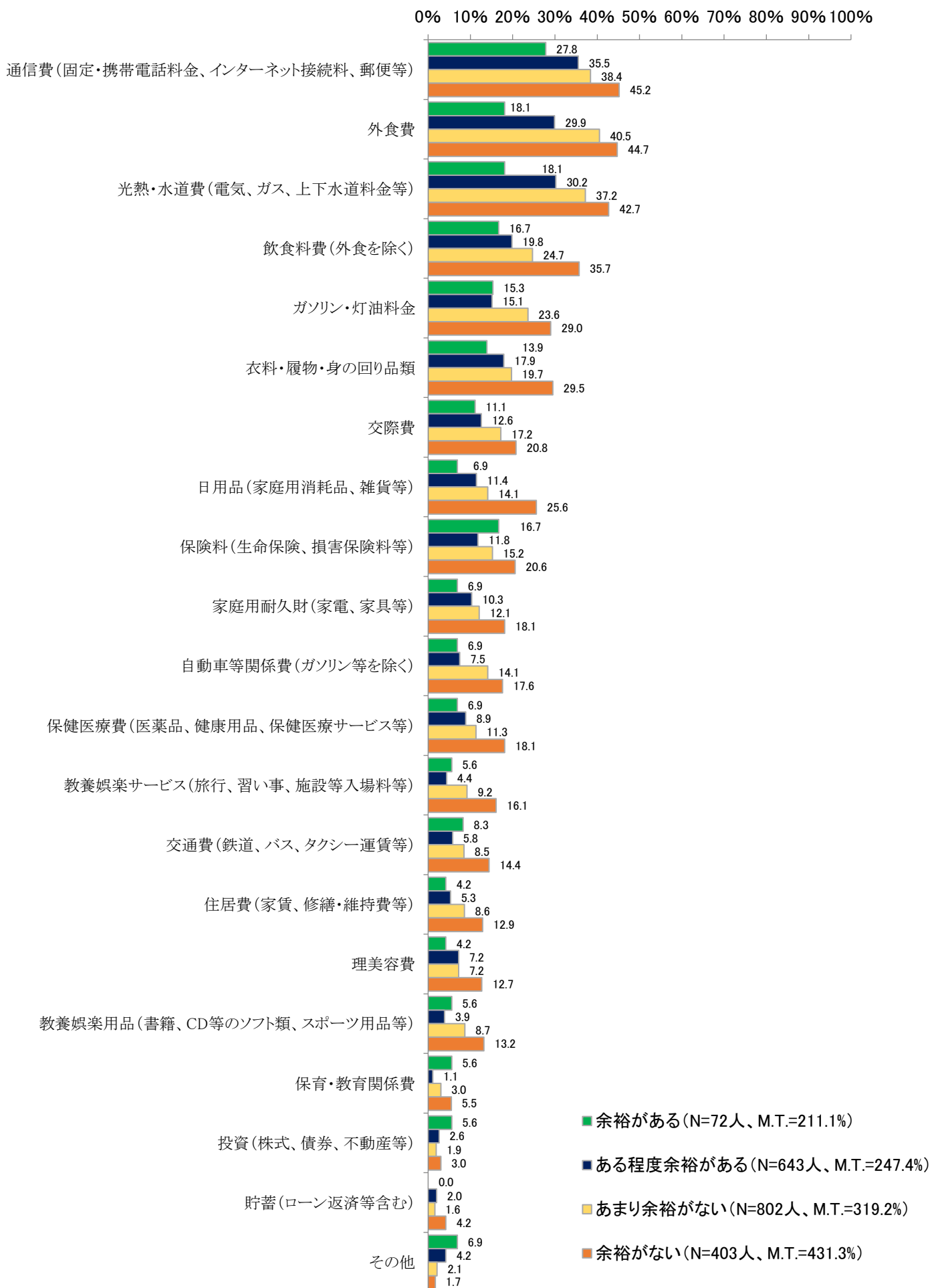
問5 <(参考)年代別>



問5 <(参考)居住形態別>



問5 <(参考)家計の余裕度別>



2. 4月調査(確報)の回答者の属性

4月調査の回答者数:1,923人

①性別

男性	605人 (31.5%)
女性	1318人 (68.5%)

②年齢

20～29歳	40人 (2.1%)
30～39歳	247人 (12.8%)
40～49歳	595人 (30.9%)
50～59歳	602人 (31.3%)
60～69歳	330人 (17.2%)
70歳以上	109人 (5.7%)

③職業

正社員	560人 (29.1%)
正社員以外の被雇用者	535人 (27.8%)
会社、団体などの役員	15人 (0.8%)
自営業	84人 (4.4%)
専業の主婦・主夫	524人 (27.2%)
学生	10人 (0.5%)
無職	159人 (8.3%)
その他	36人 (1.9%)

④居住地方

北海道	82人 (4.3%)
東北地方	137人 (7.1%)
関東地方	670人 (34.8%)
北陸甲信越地方	120人 (6.2%)
中部地方	228人 (11.9%)
近畿地方	311人 (16.2%)
中国地方	108人 (5.6%)
四国地方	56人 (2.9%)
九州・沖縄地方	211人 (11.0%)

⑤居住形態

単身	152人 (7.9%)
二人暮らし	614人 (31.9%)
三人暮らし	560人 (29.1%)
四人暮らし	444人 (23.1%)
五人以上	153人 (8.0%)

⑥世帯年収

300万円未満	271人 (14.1%)
300～500万円	521人 (27.1%)
500～700万円	515人 (26.8%)
700～1,000万円	401人 (20.9%)
1,000万円以上	213人 (11.1%)